

アジアの都市リーダーから国際機関及びステークホルダーへの共同公開書簡： アジアにおける循環型都市の推進

2025年11月25日（火）

背景

急速に成長するアジアの都市は、さまざまな都市課題に直面しています。2012年にアジア・スマートシティ会議（ASCC）が開始されて以来、アジアの都市リーダーたちは毎年横浜に集い、これらの課題に対処するための優良事例を議論・共有してきました。中でも、廃棄物管理は一貫して最重要課題の一つとされてきました。

また、世界経済のための資源の採取・加工は、気候変動を引き起こす温室効果ガス排出量の55%以上、汚染による健康被害の最大40%、そして世界の生物多様性損失の90%以上を占めると推定されています。これらの地球規模の課題の最前線にある都市にとって、経済成長と資源消費の分離（デカップリング）および環境影響の低減、すなわち循環型都市への移行は、ますます喫緊かつ重要な課題となっています。

欧州における循環型都市宣言

世界を見渡すと、欧州はサーキュラー・エコノミーを推進する地域統合型の先進的な取組の好例を示しています。イクレイ欧州は幅広いステークホルダーとともに「欧州循環型都市宣言」制度を立上げ、欧州全体での循環型移行を牽引してきました。これらの取組を基盤とし、イクレイ欧州やエレンマッカーサー財団の支援のもと、アムステルダム市が主導する「循環型都市フロントランナー・グループ」は、欧州の都市リーダーの声を集約し、循環型への移行における都市の重要な役割を強化するためより強力な政策を提言しています。

アジアにおいても、サーキュラー・エコノミーの重要性への認識は高まっており、国、都市、企業、地域コミュニティなど様々なレベルでの取組が進められています。ASCCに集う都市リーダーも、環境共生と経済成長の両立を重視していますが、この課題における知識や共通の経験の蓄積は十分ではなく、依然として多くの都市が課題を抱えています。地域全体のサーキュラー・エコノミーの効果を最大化するため、循環型社会に向けて都市が連携して取り組むことができる地域メカニズムの構築が期待されます。

国際機関及びステークホルダーの皆様の賛同・支援のお願い

国際機関、都市ネットワーク、企業、その他の関係者との実践的な支援や協力は、アジアの持続可能な都市環境に大きな役割を果たしています。つきましては、アジアにおける循環型社会の実現に向け、下記の取組やそれに限らず、国際機関および関係者の皆様のご賛同・ご支援をお願い申し上げます。

- アジア各都市の実情に即した「循環型都市宣言」枠組みの策定および運営

特にイクレイ日本に、枠組みを管理する事務局としての役割を期待します。

- ・自治体職員を対象とした能力開発等を含む技術協力の提供
- ・政策立案支援の実施
- ・優良事例の認知や表彰
- ・アジアにおける循環型都市宣言の枠組みのもとでの運営およびプロジェクトの実施に対する協賛や支援の提供

我々は、国際的なパートナーの皆様のご協力を得ることで、地域の繁栄および持続可能且つ強靭な都市環境の創造に向け、より一層の成果を挙げることができるものと確信しています。